

温々 ギャラリー案内 2020年1月～6月〈上半期〉

TEL/FAX 048-686-3620

〒337-0001 埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎1856

<http://cafe-nukunuku.com>

1月4日(土)～1月19日(日) ユサブルシナジナ展	それまで知らなかった土地・風土・人と遭遇する。 環境への思い、モノやヒトとのかかわりを深くする。 ちょっと心地のよいオカイモノ。 〈佐々木知子プロデュース〉
1月21日(火)～2月2日(日) 吉澤浩 「たんたんてん」	陶器の展示です。全国の陶器市・クラフトイベントに参加しています。 大きな災害に直面した地元の方や出店者に会う機会も増え、時には自らも被りその脅威を肌身をもって感じる今日この頃です。
2月4日(火)～2月16日(日) 会津のうるし展	会津からつくり手が集まり、器や箸・アクセサリなどを揃えました。 伝統的な技法のものから新しい個性的なものまで、さまざまな表情のうるしをぜひご覧ください。
2月18日(火)～3月1日(日) 中矢嘉貴 「木と暮らす」	富士山麓で育った生木を旋盤にかけ、うつわやランプシェードなどを作っている中矢さんの個展です。木がなりたいていくなっていくその形を生かした作品は、一つ一つ違う豊かな表情を持っています。使う人のもとで、呼吸しながら日々の暮らしの一部になっていくような作品の数々を、是非会場でご覧ください。 〈hotsumi GALLERYプロデュース〉
3月3日(火)～3月15日(日) col tempo 「革のものとものがたり」	始まりは旅で訪れたフィレンツェの工房で出逢った革のコインケースでした。 フィレンツェの伝統技法を用いて仕立てる縫い目のない革小物とシンプルな革のバッグたち。私の手から生まれる革のものとその物語をお届けいたします。 革のものが日々の暮らしの一部になってゆきますように。
3月17日(火)～3月29日(日) 田中猛 陶展	里芋の湯気、木々の芽吹き、野菜の滴などと共にある器の存在感を ずっと追ってきたなあと思っています。 田中猛 陶展
3月31日(火)～4月12日(日) スズキヨシカズ 幻燈画室収蔵品展	何処でもない場所に在る博物館・幻燈画室に集められた奇妙なモノたち。 絵画、写真、鉱物・化石によるオブジェクト。 見知らぬモノたちが見知らぬ言葉で「不可思議な物語」を語り始めます。
4月14日(火)～4月26日(日) 今井茂淑 木工・古材家具 「古材のちから」	民具・農具・デッドストック材など様々なストーリーを内包する古材から モダンな家具や空間を演出する小物たちを土壁と大谷石の土間に ディスプレイさせていただきます。お楽しみいただければ幸いです。
4月28日(火)～5月10日(日) 宮下香代 「紙のかたち」	大きな窓に広がる新緑の木々と土壁。 ゆったりとした温々さんの空間に 和紙と針金で作るオブジェとモビールを展示します。
5月12日(火)～5月24日(日) 野村康子 個展	見沼の風・雲、ふるさと石川の風・海。 大作は最近作を展示いたします。 また みなさまに お会いできますよう。
5月26日(火)～6月7日(日) うごく画 の いろいろ	いちど時を切り取られた画。 つなげると止まった時間が動きだす。 本当は動いていないのに？ 画も時も…。 〈佐々木知子プロデュース〉
6月9日(火)～6月21日(日) 田中俊介 杜の 鎚音 2020	今回も出張工房やります。 普段馴染みがない金属の手仕事での制作風景をご覧ください。 ギャラリーではラインナップが増えたキッチン・ダイニングツールが並びます。
6月23日(火)～7月5日(日) 熊田恵子 陶展	線刻 手びねりで作ったかたちに線を刻む 和紙のような風合いをまとった花入れ もの うつわ